

## 第1学年2組 国語科学習指導案

平成29年12月7日(木) 5校時

指導者 担任

司書教諭

学校司書

### 1. 単元名

見て見て よんで! 「のりものじまんずかん」をつくろう  
「いろいろなふね」(東京書籍 1年下)

### 2. 単元の目標

- ・いろいろな乗り物に興味をもち、本を読んで調べようとしたり、乗り物図鑑を作ったりしようとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- ・文章に書かれている内容を、事柄ごとに正しく読み取ることができる。 【読むこと】

### 3. 本単元にかかわる情報リテラシー(松江市小中一貫基本カリキュラム「学び方指導体系表」による)

C: 学習のめあてをもつ。知りたいことを見つける。

F: 図鑑にふれる。

G: 絵を読みとる。

J: カードに書き抜く。

L: 絵カードにまとめる。

### 4. 単元設定の意図

(省略)

### 5. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	言語についての知識理解・技能
・乗り物に興味をもち、進んで図書資料を読んで調べようとしたり、乗り物図鑑をつくったりしようとしている。	・乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読んでいる。	・新出漢字や新出片仮名を正しく読み書きしたり、助詞の「は」「へ」「を」を正しく使って、乗り物図鑑を書いたりしている。

6. 単元の指導計画と支援と評価（全14時間）

次	時	主な学習活動	支援 (◎担任 ◆司書教諭 ◇司書)	【評価規準】(方法)
一 つ か む	1	<p>○学習課題を知り，学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「のりものじまんずかん」を作ろう。</p> </div>	<p>◎乗り物の写真を見せたり，乗り物について知っていることを聞いたりしながら，本単元への興味が高まるようにする。</p> <p>◆学習のゴールのイメージをもつことができるように，教師の作成した「のりものずかん」のモデルを見せる。</p> <p>◆「のりものずかん」の3つのじまん（「やく目」「つくり」「できること」）を順序立てて紹介することで，3つの事柄をまとめながら乗り物図鑑をつくることを意識づける。</p>	<p>【関】いろいろな乗り物に関心をもち，「のりものずかん」をつくることに意欲をもって取り組もうとしている。（発言・観察）</p>
	2	<p>○学習計画を確認する。</p> <p>○「のりものの本」の紹介を聞く。</p> <p>○読書カード（「これいいかも？のりものどくしょカード」）の記録の仕方を知る。</p>	<p>◎「のりものじまんずかん」の作成までの流れを示し，見通しをもって学習に向かえるようにする。</p> <p>◎完成した「のりものずかん」を1組に紹介することを伝え，目的意識と相手意識をもって活動できるようにする。</p> <p>◇乗り物の本の配架を確認したり，図鑑作りに使う図書資料を紹介したりし，並行読書につなげる。</p> <p>◇「いろいろな乗り物ブックトラック」を設置し，並行読書がしやすい環境をつくる。</p> <p>◆並行読書で興味をもった乗り物を記録し，自分の書きたい乗り物を選ぶ際に活用できるようにする。</p>	<p>【関】いろいろな乗り物に関心をもち，「のりものずかん」をつくることに意欲をもって取り組もうとしている。（発言・観察）</p>
3		<p>○教材文を読み，形式段落を確認する。</p> <p>○説明されている4つの船の名前と順序を確かめる。</p> <p>○説明文のはじめ・中・おわりの文章構成を考える。</p> <p>○漢字や語句の学習をする。</p>	<p>○写真と文章を対応させながら，全体を「はじめ」「中」「おわり」の3つに分け，内容の大体と文章構成をつかむことができるようにする。</p>	<p>【読】事柄の順序に気をつけて，内容の大体と文章の構成を読み取っている。（発言）</p>

二 追 求 す る	4	<p>○「のりものじまんずかん」にまとめる3つの事柄（「やく目」「つくり」「できること」）を確認する。</p> <p>○「きゃくせん」について読み取る。</p> <p>○読み取ったことを「のりものずかん」にまとめる。</p>	<p>◎「やく目」「つくり」「できること」の3つの事柄の意味を「のりものずかん」のモデルを使い、わかりやすい言葉で説明する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「やく目」・・・何を 「つくり」・・・何が 「できること」・・・何が</p> </div>	<p>【読】乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードに書き抜いている。(カード)</p>
	5	<p>○「フェリーボート」について読み取る。</p> <p>○読み取ったことを「のりものずかん」にまとめる。</p>	<p>◎事柄ごとに、色分けした付箋を貼りながら読み取り、視覚的にもとらえやすいようにする。</p> <p>◎事柄の順序や説明に使われる基本的な文型をとらえさせ、大事な言葉や文をカードに書き抜いてまとめていくことをおさえる。</p>	<p>【読】乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードに書き抜いている。(カード)</p>	
	6	<p>○関連図書を読む。</p>	<p>◎図鑑作りに向け、関連図書を読む時間を設け、文章をじっくりと読む習慣を身につけることができるようにする。</p>	<p>【読】自慢したい乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読んでいる。(読書カード・行動観察)</p>	
	7	<p>○「ぎょせん」について読み取る。</p> <p>○読み取ったことを「のりものずかん」にまとめる。</p>	<p>◎事柄ごとに、色分けした付箋を貼りながら読み取り、視覚的にもとらえやすいようにする。</p> <p>◎事柄の順序や説明に使われる基本的な文型をとらえさせ、大事な言葉や文をカードに書き抜いてまとめていくことをおさえる。</p>	<p>【読】乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードに書き抜いている。(カード)</p>	
	8	<p>○「しょうぼうてい」について読み取る。</p> <p>○読み取ったことを「のりものずかん」にまとめる。</p>	<p>○既習の3つの船とも、3つの事柄（「やく目」「つくり」「できること」）や順序が共通していることを本時の読み取りや図鑑作りの視点として確認する。</p>	<p>【読】乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードに書き抜いている。(カード)</p>	
	9	<p>○関連図書を読む。</p>	<p>◎図鑑作りに向け、関連図書を読む時間を設け、文章をじっくりと読む習慣を身につけることができるようにする。</p>	<p>【読】自慢したい乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読んでいる。(読書カード・行動観察)</p>	

三 深める	10	○読書カードから、読みたい本を選ぶ。 ○選んだ本を読み返して、「のりものずかん」にまとめる自慢したい乗り物を決める。	◎◇選書でつまずいたり、乗り物が決められない児童には一緒に読んだり、選んだりする。	【関】自分の自慢したい乗り物の本を選ぶことができる。 (行動観察)
	11 (本時)	○選んだ乗り物について書かれている情報を読み取り、「やく目」「つくり」「できること」の3つの事柄を見つける。	◎図書資料から、「やく目」「つくり」「できること」の3つの事柄を見つけながら図鑑にまとめることを説明する。 ◆実際の本を提示しながら、知りたい事柄を調べる方法を知らせる。 ◎◆◇読み取りでつまずいている児童には、教材の文章を言い換えることで3つの事柄と同じになることを助言しながら一緒に読む。	【読】たくさんの情報の中から、「やく目」「つくり」「できること」を見つけることができる。(付箋)
	12 13	○付箋を貼った文章を書き抜き、「のりものずかん」にまとめる。  ○完成した「のりものじまんずかん」をあいうえお順に並べ替えたり、もくじをつくったりする。	◎図書資料などが読み進められない場合は、教材文とおなじ文型に書き換えた文章を用意する。  ◎図鑑の学習を想起させ、カードを分類したり、使った書名を書いたりするとよいことを説明する。	【書】説明のための文型を用いて、文章を書いている。(カード) 【言】助詞に気をつけながら、つながりを意識して乗り物図鑑を書いている。 (カード)
四 伝え合う	14	○完成した「のりものじまんずかん」を友達同士で読み合う。 ○1組に「のりものずかん」を紹介する。	◎感想を交流し、友達の図鑑のよさを伝え合うことで、情報収集し、発信する喜び、達成感を味わえるようにする。	【関】友達の発表を聞きながらよいところを見つけようとしている。(活動の様子)



<p>4. 見つけた自慢をペアで話したり，みんなに伝えたりする。</p> <p>5. まとめとふりかえりをする。</p>	<p>◎◆◇文章を読むことに興味をもてないでいる児童には，一緒に文章を読んだり，絵や写真を手がかりにしたりして内容が理解できるようにする。</p> <p>【読】たくさんの情報の中から，「やく目」「つくり」「できること」を見つけることができる。(付箋)</p> <p>◎◆担任と司書教諭が伝え方の手本を示し，ペアで伝え合う際の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>◎見つけた3つの事柄をQ&amp;A方式で伝え合う。教材文の文型にこだわらず，自分の言葉で友達に伝えることを大切にする。見つけた事柄を伝え合うことで，次時のカードの文章づくりにつなげていく。</p> <p>◎友達の乗り物の自慢ですごいと思ったことを発表したり，図鑑名人のこつを使った感想を聞いたりする。</p>
--	---

(3) 本時の評価

	十分満足できると判断される児童の具体例	概ね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への支援の手立て
読む能力	複数の乗り物について，たくさんの情報の中から「やく目」「つくり」「できること」を見つけている。	たくさんの情報の中から，「やく目」「つくり」「できること」を見つけている。	「やく目」「つくり」「できること」が載っている場所を見つけることができるように，難しい語彙の説明をしたり，教材の文章を言い換えたりして一緒に読む。

(4) 授業の視点

- ・図鑑作りの図書資料を1種類に限定したことや，司書教諭が情報収集の仕方を示したことは，3つの事柄を見つけるのに有効であったか。

8. 本時の板書計画

